

大崎のプロスパイン受賞

富県宮城グランプリ 「磁気歯車」採用好調



表彰状を手にする渡部社長(前列左から3人目)ら受賞企業の関係者

県内産業の発展、地域経済の活性化に貢献した企業や個人に贈る「富県宮城グランプリ」(県主催)で、本年度のグランプリに金型部品製造のプロスパイン(大崎市)が選ばれた。

同社が手がける非接触動力伝達装置「マグネットギア」(磁気歯車)は、クリーンな環境が求められる半導体製造装置や食品、医療品への採用が拡大。付加価値を創出した成功例として

評価された。

本年度の表彰式が7日に県庁であり、グランプリと各部門賞を受賞した計4団体の関係者が出席。プロスパインの渡部竜也社長は「今後も技術を磨いて良い製品を世に送り出し、宮城、日本の製造業の飛躍に貢献したい」と話した。表彰状を手渡した村井嘉浩知事は「これからも宮城経済の中心をわれわれが担っているという思いで頑張ってほしい」と激励した。

富県宮城グランプリは2008年度に創設し、今回で11回目。東日本大震災で休止し、15年度に再開した。本年度は市町村などから16

件の推薦があった。他の受賞企業は次の通り。
ものづくり産業振興部門賞
東北特殊鋼(村田町)▽「みや

ぎの食」振興部門賞 斉吉商店(気仙沼市)▽デジタル・トランスフォーメーション(DX)部門賞 プラスエン지니어リング(村田町)